

Department of Information and Communication Science

立命館大学 情報理工学部 情報コミュニケーション学科



情報コミュニケーション学科
学科長 李周浩

2013年度版

情報技術(IT)から情報コミュニケーション技術(ICT)へ

IT(Information Technology)から *ICT(Information and Communication Technology)*へ

2006年以降に到来する本格的な少子高齢化社会では、解決すべき課題が山積み

生活・社会

- ・2007年からの人口減少の歯止め
- ・高齢者の住みやすい環境整備
- ・食品の安全性に対する信頼回復
- ・地域コミュニティの信頼関係強化

医療・福祉

- ・遠隔医療等患者中心の医療実現
- ・情報公開等による医療過誤対策
- ・年金に対する不安解消

交通・物流

- ・交通事故の削減、渋滞や満員電車の緩和
- ・高齢者や障害者に優しいバリアフリー環境の整備

環境・エネルギー

- ・進展する地球温暖化の歯止め
- ・ゴミ減量化やリサイクルの強化
- ・太陽等自然エネルギーの開発
- ・遺伝子操作等バイオ技術の適正利用

雇用・労働

- ・高齢者の就労機会の確保
- ・フリーター等若年労働者の失業対策
- ・育児支援等女性の就労環境の改善
- ・実力主義や雇用流動性の確保

教育・人材

- ・「数学」「理科」嫌いの増加回避
- ・深刻化する青少年犯罪の防止
- ・大学・大学院の国際競争力強化

治安・防災

- ・テロや凶悪犯罪への不安解消
- ・地震、台風や大事故等の災害対策
- ・ピッキング等の治安への不安解消

経済・産業

- ・経済の本格回復・競争力強化
- ・製造業等の空洞化の防止
- ・ICTの経営導入による効率化促進
- ・日本文化・芸術の海外進出強化

行政サービス

- ・引越時等のワンストップサービスの実現
- ・電子化・効率化等による財政再建

国際

- ・国連等国際機関での発言力の確保
- ・戦略的に重要なアジアとの関係強化

ICTの今後のトレンドは「ユビキタスネット」、その利活用が課題解決の「切り札」となることに期待大

情報家電、IPv6、電子タグ、ブロードバンド、デジタル放送等、日本の強みであるユビキタスネットワーク技術が着実に実用化・汎用化

老後の不安を解決する介護・福祉支援システム、食の不安を解決する食品トレーサビリティ、治安への不安を解決するホームセキュリティシステム等、先駆的なICTの利活用方法の開発が進展 → ユビキタスネット社会への期待が拡大

総務省ICT政策
(u-Japan政策)

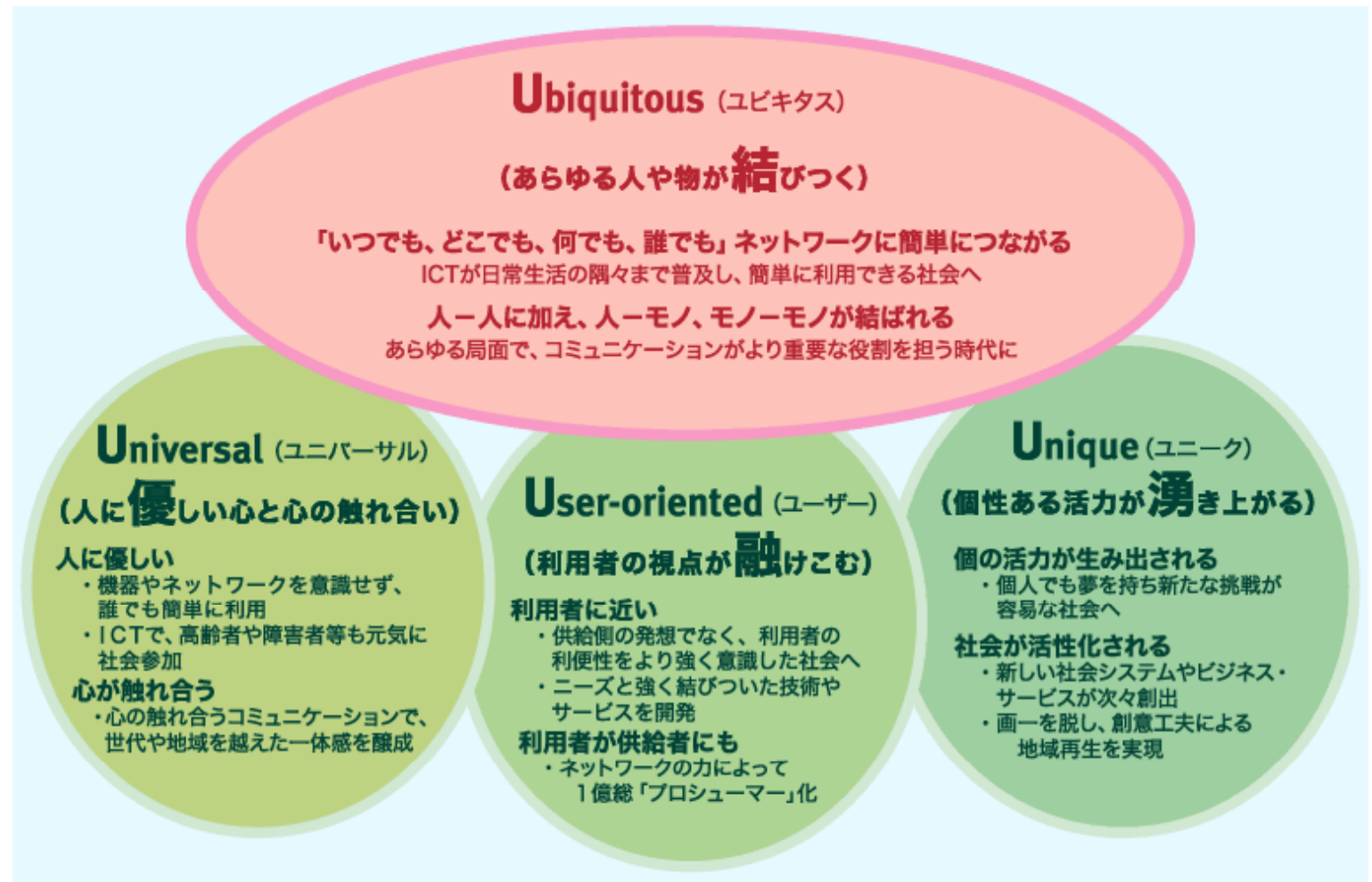
2010年の次世代ICT社会の実現へ向けた中期ビジョン(u-Japan政策)が必要に

「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」という将来のユビキタスネット社会も手の届くところに。総務省として2010年に実現する新たな社会の姿(u-Japan)を明確に打ち出すとともに、必要な政策パッケージ(u-Japan政策)を策定。

ネットワーク技術でユビキタス社会を実現！

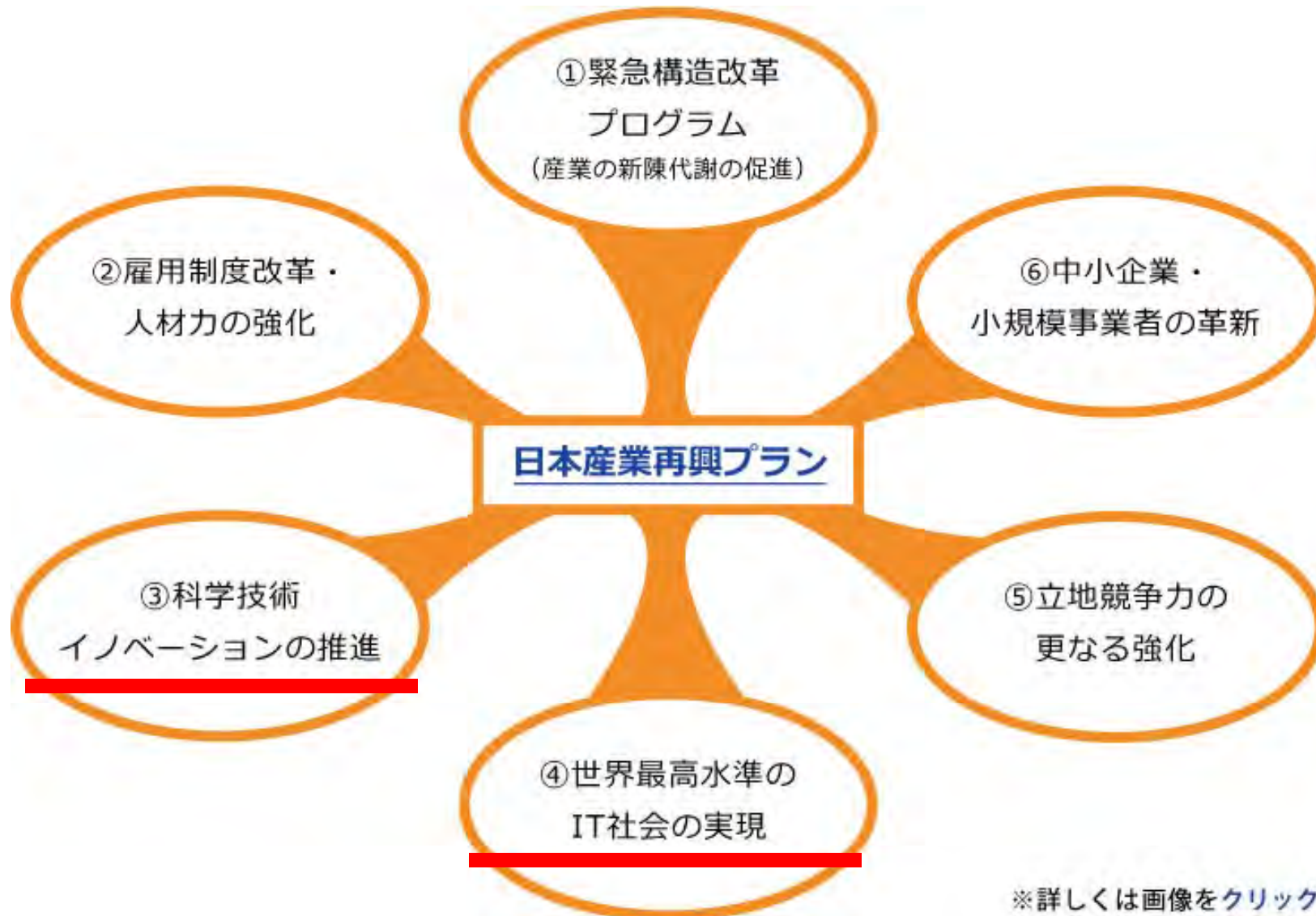
IT(Information Technology)から

*ICT(Information and Communication Technology)*へ



総務省ICT政策
(u-Japanの理念)

アベノミクス「3本の矢」の一つ, 日本再興戦略



情報コミュニケーション学科

Department of Information & Communication Science

未来のコミュニケーションが生まれる。

情報コミュニケーション学科では、「人間とシステムを結ぶ」・「システムを介して人間と人間を結ぶ」新しいコミュニケーション技術を作り出すため、コンピュータネットワークや通信、ヒューマンインタフェース、情報システム、人工知能、マルチメディアに関する技術を修得して、情報コミュニケーション技術の先行的分野を開拓する人材を育成します。

1987年(昭和62年)	理工学部に情報工学科を設置
1994年(平成6年)	理工学部 びわこ・くさつキャンパス(BKC)へ拡充移転 情報工学科を改組・拡充し、情報学科を設置 総合理工学研究機構を設置
2002年(平成14年)	理工学部情報学科 収容定員増
2004年(平成16年)	情報理工学部開設, 情報コミュニケーション学科開設
2008年(平成20年)	生命情報学科が生命科学部に移設
2012年(平成24年)	情報理工学研究科を設置 (理工学研究科から独立)

情報コミュニケーション学科の教育

コンピュータネットワーク, 通信, ヒューマンインタフェース, システムに関する情報技術を体系的に学べるカリキュラム

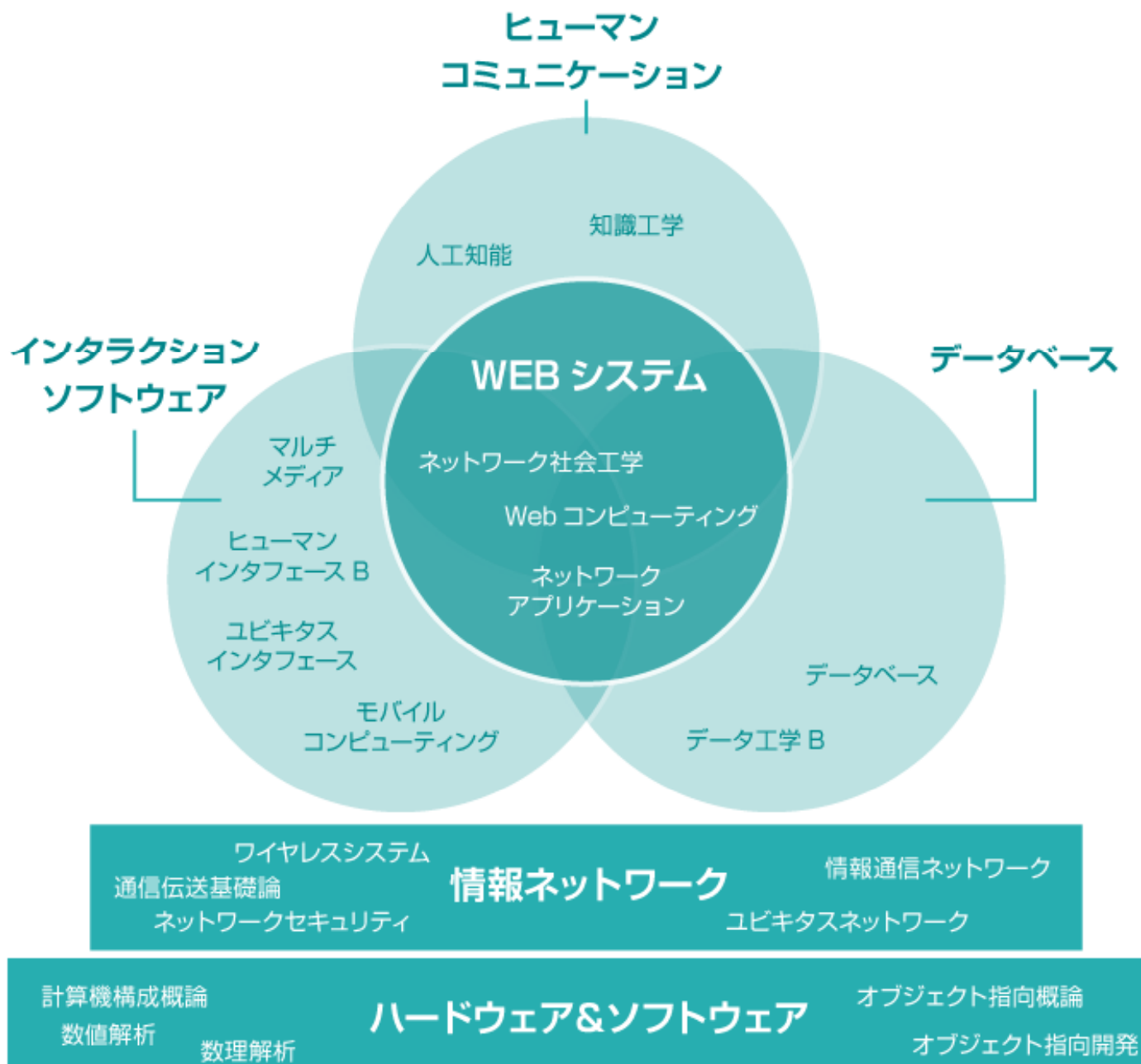
- ◆ 創成科目(情報コミュニケーション創成1・2)でコンピュータの組立てからソフトウェアやネットワーク, サーバやサービスの構築・運用等の実践的な学習
- ◆ 創成3で, 卒業研究の準備(研究室ごとに特徴的な課題)
- ◆ プログラミング言語としてはCに加えてJava

情報処理とネットワーク技術がわかる
社会で活躍できる人材の育成



ネットワーク技術者、システムエンジニア、
セキュリティ技術者、Webサービス開発者、
スーパープログラマー...

情報コミュニケーション学科の教科目



情報コミュニケーション学科の教科目

	2 回生前期	2 回生後期	3 回生前期	3 回生後期
ハードウェア& ソフトウェア	計算機構成概論 オブジェクト指向概論 数理解析	オブジェクト指向開発 数値解析		
情報 ネットワーク		ネットワークセキュリティ 情報通信ネットワーク 通信伝送基礎論	ワイヤレスシステム	ユビキタスネットワーク
データベース	データベース			データ工学 B
ヒューマン コミュニケーション		人工知能	知識工学	
Web システム			ネットワークアプリ ケーション Web コンピューティング	ネットワーク社会工学
インタラクション ソフトウェア		マルチメディア	ヒューマンインタ フェース B	ユビキタスインタフェース モバイルコンピューティング
実験・演習	情報コミュニケーション 学実験 I	情報コミュニケーション 学実験 II 情報コミュニケーション 創成 1	情報コミュニケーション 学実験 III 情報コミュニケーション 創成 2	情報コミュニケーション 創成 3

ICT企業リーダによるリレー講座

スケジュール(2013年度)

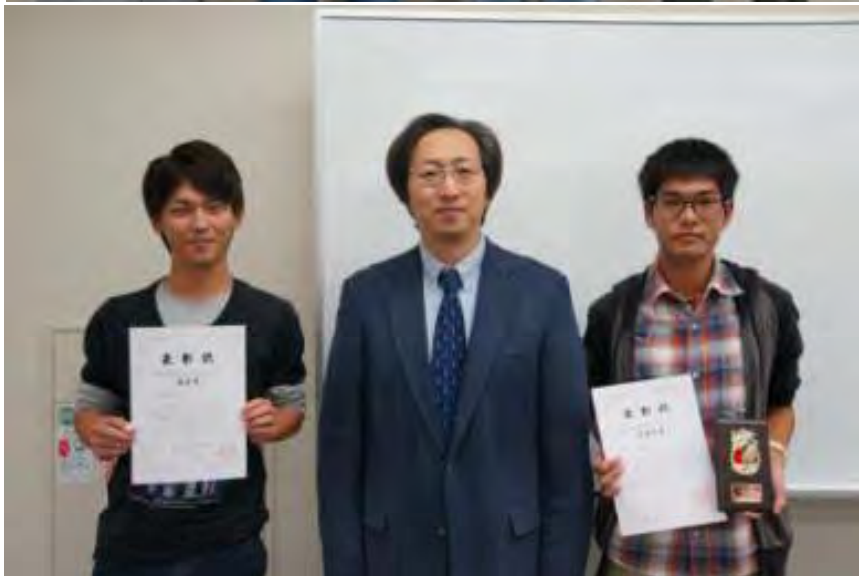
	講演日	講演者	講演内容
1	2013-11-8	株式会社オービス総研 取締役執行役員 技術統括 宗平 順己様	これからのIT人材 ～次世代高度IT人材への期待
2	2013-11-15	一般社団法人日本情報システム・ユーザ 協会 主任研究員(元JTB取締役CTO) 佐藤 正史様	基幹予約システムの再構築
3	2013-11-22	株式会社トヨタIT開発センター 代表取締役会長 井上 友二様	業際と文際による新しいイノベーション
4	2013-11-29	西日本電信電話株式会社 取締役 技術革新部長 木村 丈治様	NTT西日本における技術開発動向について
5	2013-12-6	大日本印刷株式会社 C&I事業部 副事業部長 川口 寛様	ICTトレンド×アナログ回帰思考

情報コミュニケーション創成1の授業風景



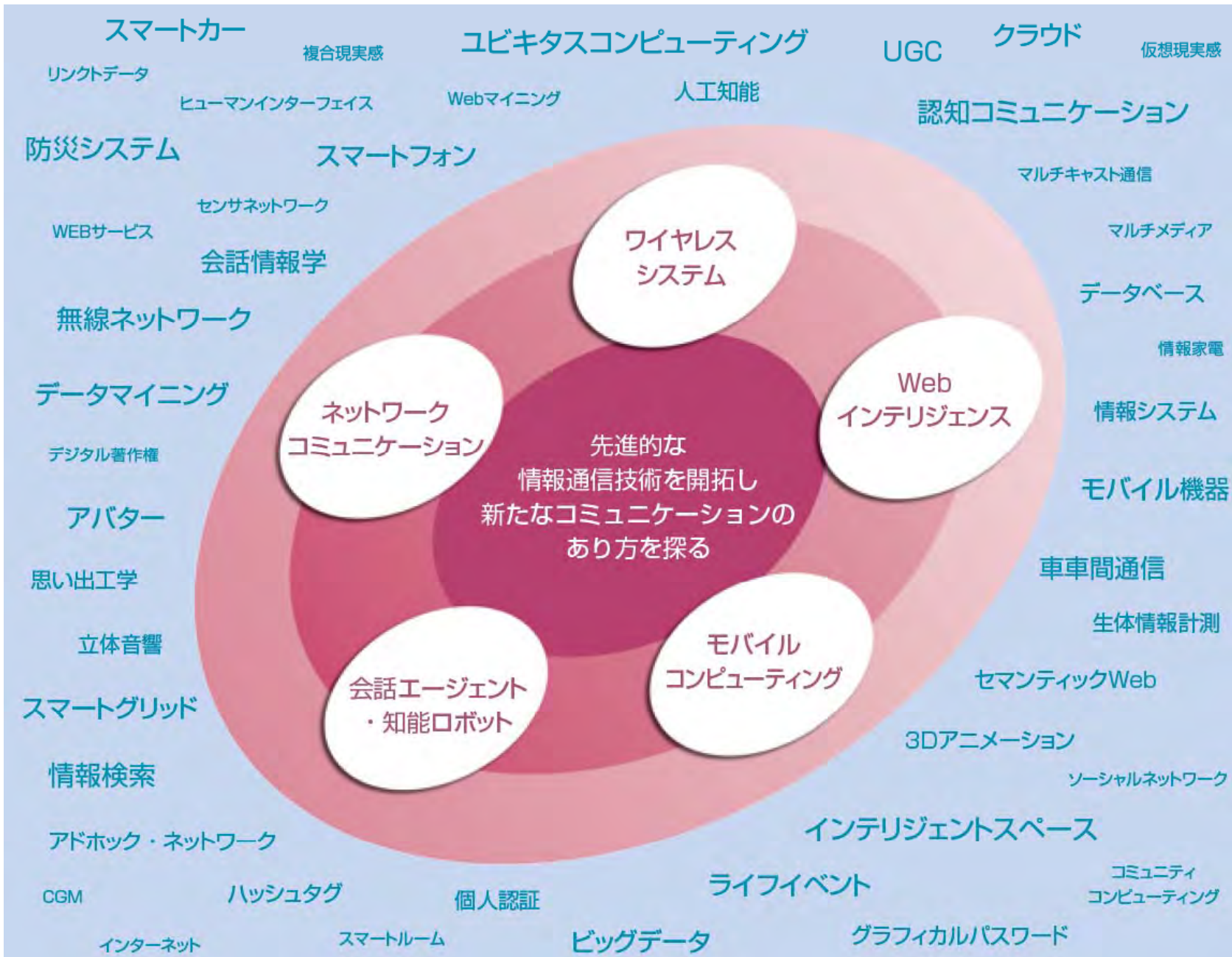
Linuxコンピュータを組み立て、OSをインストールし、簡単なサービスを構築

情報コミュニケーション実験1のコンテスト

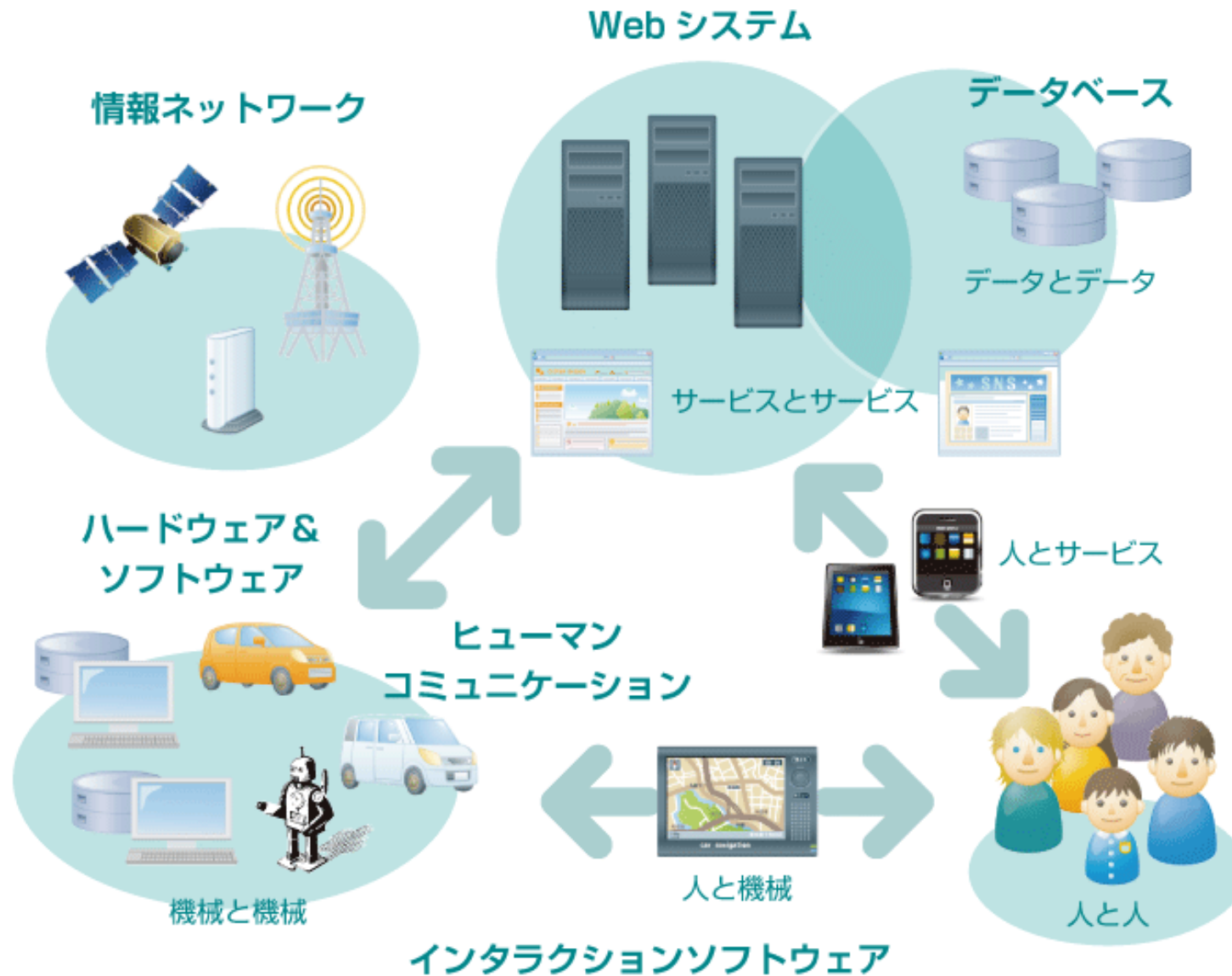


実験で優秀なソフトウェアを開発した学生に表彰状を授与

情報コミュニケーション学科の研究分野



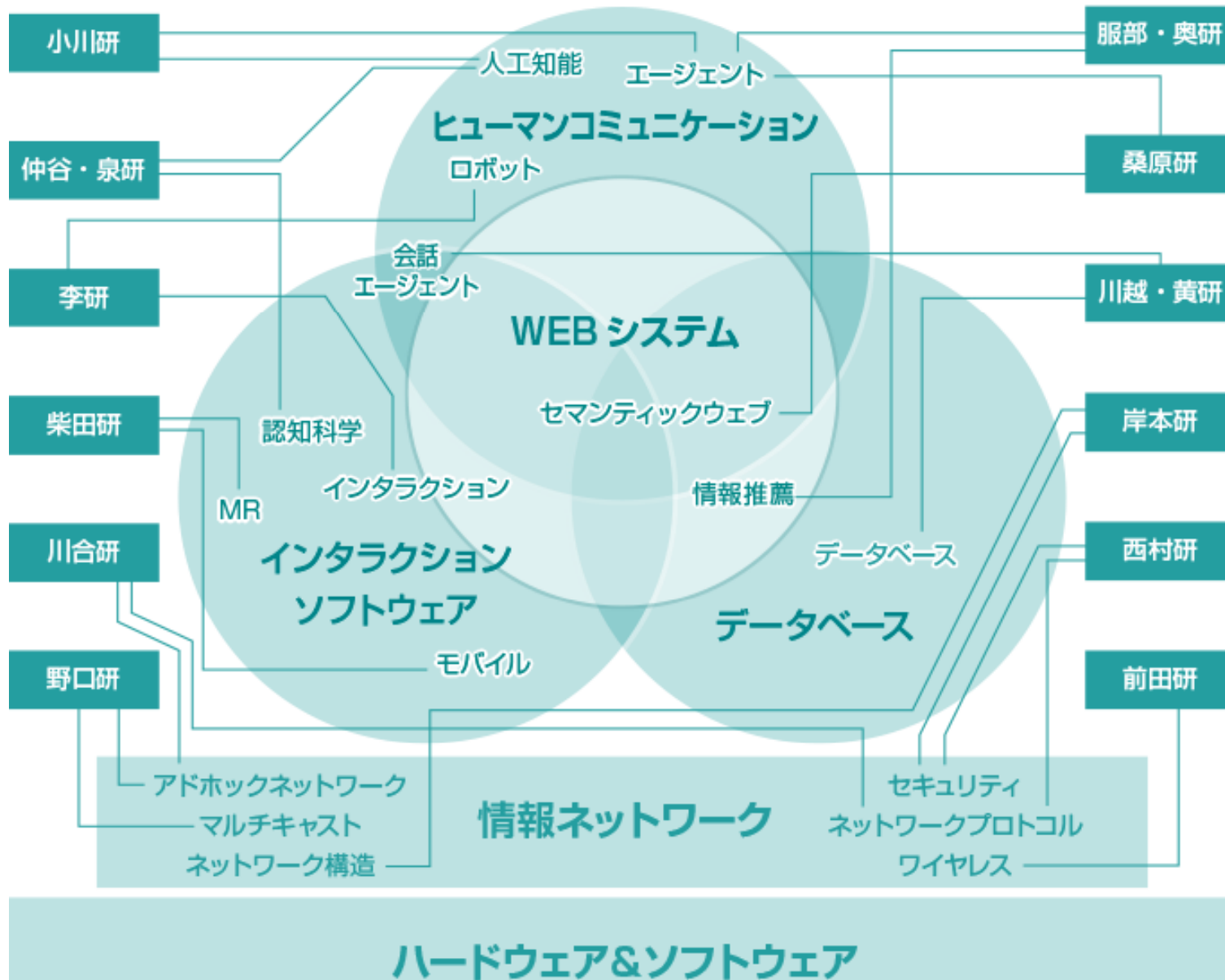
情報コミュニケーション学科の研究分野



すべてはコミュニケーションからはじまる

情報コミュニケーション学科

<http://www.ics.ritsumei.ac.jp/>



情報コミュニケーション学科の研究成果及び設備

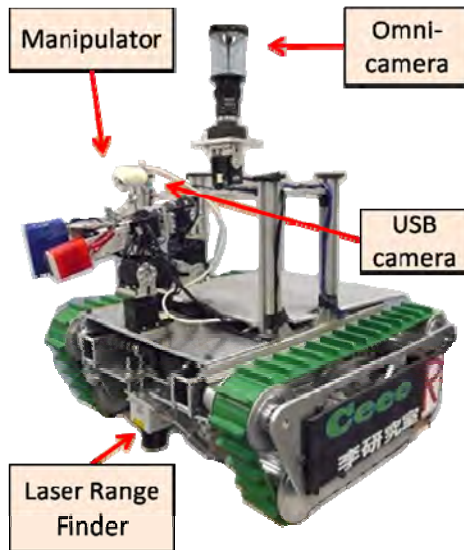
Department of Information & Communication Science

研究分野

ネットワーク技術(インターネット、セキュリティ、モバイル、ワイヤレス等)
ソフトウェア技術(エージェント、データベース等)
ヒューマンコミュニケーション技術、コミュニケーション科学等

特色ある研究成果・設備

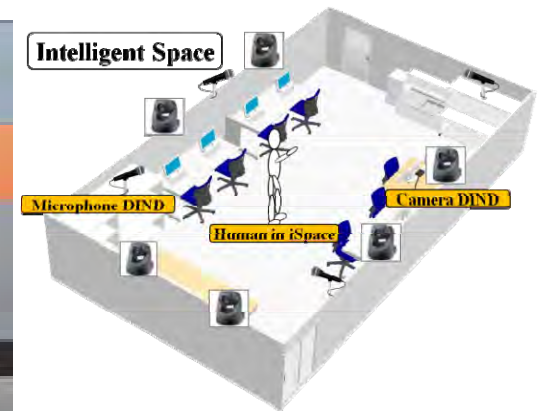
災害支援ロボット



コミュニケーションロボット



ユビキタスディスプレイ



知能化空間

電波暗室



ICTカー



アンテナ実験設備



経験豊かでフレンドリーな先生と一緒に
未来の産業界をリードする、
ネットワーク・ソフトウェア・システム・ヒューマ
ンインタフェースの技術者を目指します！

詳しくは、情報コミュニケーション学科のホームページ

<http://www.ics.ritsumei.ac.jp/>

をご覧ください。

- ・ 学生の学会発表や受賞
- ・ IT企業リーダによる
リレー講座
- ・ 企業・国・自治体との共同研究
- ・ 在学生からのメッセージ
- ・ よくある質問

など

